

行 政 報 告

第2回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

はじめに、令和5年度各会計の出納閉鎖による決算見込みについて申し上げます。

一般会計は、2億7,254万3千円の繰越しとなりました。

歳入は、令和6年度への繰越明許費分を除いた予算に対して3,275万1千円の増で、町税が予算に対し7,769万3千円の増となり、歳出は、繰越明許費分を除いた実質の不用額は2億3,979万3千円となっております。

後期高齢者医療特別会計は、78万5千円の繰越しとなりました。

国民健康保険特別会計は、道支出金などの増により、3,762万5千円の繰越しとなりました。

介護保険特別会計は、介護保険給付費などの減により、9,829万7千円の繰越しとなりました。介護保険給付費に係る交付金等は翌年度に精算されることから、精算額が確定しだい議会へ補正予算を提案いたします。

公共下水道事業特別会計は、4月1日からの公営企業会計方式の適用に伴い、3月31日をもって終了とする出納整理期間が存在しない「打ち切り決算」となります。

歳入は4億5,725万9千円で、予算現額11億4,662万8千円に対して6億8,936万9千円の減、歳出は4億5,083万8千円で、予算現額11億4,662万8千円に対して6億9,579万円の減で、歳入歳出差引残額は642万1千円となりました。

ガス事業会計は、年間ガス販売量が前年度同量の１８万９千立方メートルで、ガス価格激変緩和対策事業費補助金を併せるとガス売上は７７万１千円の微増収となりました。

事業収支では、経費の節減に努めて若干の改善はありましたが、原料費等の経費が高止まりしていることから、１，２７９万９千円の当年度純損失となっております。

この当年度純損失を前年度繰越欠損金４億５，４３５万８千円に加えますと、当年度未処理欠損金は４億６，７１５万７千円となります。

水道事業会計は、年間給水量が前年度と比較して２万立方メートル減の５４万立方メートルとなりましたが、給水収益は７万円の微増収となりました。

事業収支では、経費の節減等により１７１万８千円の当年度純利益となっております。

病院事業会計は、前年度と比較して入院患者数は１５．１パーセント増加しましたが、入院収益は３６０万１千円の減収となりました。外来患者数は１０．０パーセントの減少となり、外来収益は２，５２２万５千円の減収となりました。

支出では、前年度と比較して医業費用が４５万４千円の増加、医業外費用は１３万５千円の増加となっております。

事業収支では、一般会計から４億６，０００万円の補助金を繰入れた結果、１，５４６万７千円の当年度純利益となり、この当年度純利益を前年度繰越欠損金５億５，５７５万２千円から差し引きますと、当年度未処理欠損金は５億４，０２８万５千円となります。

なお、各会計の詳細につきましては決算上程の際に関係資料を提出いたします。

次に、B & G財団「防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築」事業について申し上げます。

B & G財団では、頻発する全国の水害、土砂災害及び地震等の自然災害による集落孤立救助など、災害時の地域の自助・共助・公助の連携強化に役立てるため、令和3年度に「防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築」事業を創設し、防災倉庫の整備や資機材購入、重機や救助艇操作研修など人材育成に対する助成のほか、災害時相互支援体制の構築に対して支援を行っております。

このたび、本年度の事業要望についてB & G財団から意向の確認があり、本町が実施を希望したところ4月30日に現地調査が行われ、審査の結果5月28日付で本事業に適している旨の通知をいただいたことから、関連する費用について補正予算を本定例会に提案いたしております。

次に、ふるさと納税について申し上げます。

長万部町まちづくり基金条例による、ふるさと納税の令和5年度の実績といたしまして、寄附受付サイトの返礼品掲載写真等の見直しや新規返礼品の発掘、支援委託業務の強化による専門性のある寄附傾向の分析、ふるさと納税関連イベントへの参加による新規寄附者の開拓、町ホームページ内に特産品特設サイトの開設や各種PR広告の実施などを図った結果、特にホタテ関連の返礼品が非常に好評だったこともあり、令和5年度の寄附状況は、48,391件、5億6,009万円と過去最高を大幅に更新し、前年度と比較して約4億4,700万円の増となりました。

今後も、町の魅力発信や返礼品等のさらなる充実を図るとともに、町を応援してもらうための取組を強化しながら、ふるさと納税による寄附の拡大を目指してまいります。

また、令和5年度の企業版ふるさと納税につきましては、本町に関わりのある企業に対して、寄附事業プロジェクトの内容を記載したPRパンフレットの送付を実施したことなどにより、17件、1億4,835万円の寄附実績となりました。今後も積極的な広報活動を実施してまいります。

次に、北海道新幹線関係について申し上げます。

北海道新幹線札幌延伸に伴い建設される長万部駅の駅舎デザインにつきましては、鉄道運輸機構が昨年10月に示した3案の中から、交通の要衝として栄えたことを印象づけるデザイン案を選定し、4月5日に同機構に推薦書を提出いたしました。

選定したデザイン案は、「人と時代が交差する 次世代に繋がる駅」がテーマのA案であり、ガラスを使用した透明感のあるデザインで、外壁に「交差」が表現されております。選定にあたっては、3つのデザイン案について、2月に町民や東京理科大学学生などの町にゆかりのある人に投票を呼びかけ、投票された707票中、A案が最多の301票を獲得し、新駅のデザインを検討していた駅デザイン検討委員会から3月18日にA案を選定する旨の答申を受け、推薦することを決定したものであります。A案は、特に小中高生に強く支持されたものであり、今後100年以上使うであろう駅が将来も色あせない、町のシンボルとなることを期待しています。

北海道新幹線札幌延伸の開業時期につきましては、現在の工事の遅れにより2030年度の開業が困難であることが、5月8日に鉄道運輸機構から国に対して正式に報告されました。本町では、新幹線札幌延伸と新幹線長万部駅の開業を心待ちにしていますが、今後の開業時期は未定とされ、大変残念でなりません。これに伴い5月29日、北海道新幹線建設促進関係自治体連絡協議会の首長とともに斉藤国土交通大臣と面会し、一日も早い開業と新たな開業時期の明示の緊急要望を行ったところであります。

本町では、新幹線開業に伴う地域の発展と経済の活性化を目指し、駅前周辺の都市施設の整備と駅前東口の土地区画整理を計画し、来年度の事業着手に向けて準備を進めております。開業時期は未定とされましたが、今後もまちづくりのスケジュールについては、これまでどおり2030年度までの完成を目指してまいります。なかでも自由通路は、令和4年に除却した中央跨線橋に替わる津波避難路の機能を兼ねており、早急に整備する必要があることから、引き続き関係機関との調整を進め、早期完成を目指してまいります。

町内の新幹線建設工事につきましては、現在5つのトンネル工事が施工中で、6月1日現在において、立岩トンネルのルコツ工区と豊津工区、豊野トンネルと幌内トンネル、国縫トンネルは掘削を完了し、残る覆工などを施工中であり、内浦トンネルの静狩工区では、本坑5,570メートルのうち4,349メートルが掘削されております。

さらに、地上部の明かり区間の工事につきましては、8つの工区で工事が施工中で、長万部駅高架橋の工区では工事の準備を行っており、その他の工区では新幹線構造物の基礎工などを施工中で、町内の工事は、現在のところ順調に進んでいるとの報告を受けております。

次に、老人福祉関係について申し上げます。

80歳以上の高齢者や心身に重度の障害を持つ方が、社会参加や日常生活の中で、タクシーを交通手段の一つとして容易に利用できるよう、料金の一部を助成しておりますタクシーチケットは、4月3日から役場窓口で、9日には国縫・中ノ沢・双葉・静狩の各会館に出向き交付を行いました。5月末までの対象件数は748件で、交付件数は658件、約88パーセントの交付率であります。

60歳以上の高齢者を対象とした町内温泉施設の入浴料金助成事業は、タクシーチケットと同日に受付を開始しており、5月末までの対象件数は2,482件で、交付件数は959件、約39パーセントの交付率であります。

次に、児童福祉関係について申し上げます。

さかえ保育所の本年度の入所児童数は、定員60名に対し23名となっており、一時保育事業の4月の利用は2名、小学校低学年児童受入事業の利用は、8名で延べ49日間、保育所に併設している地域子育て支援センターは、延べ19組で52名の親子の利用となっております。

放課後児童健全育成委託事業の学童保育所「ななかまど」は、現在、小学1年生2名、3年生2名、4年生1名、5年生2名、6年生3名の計10名の入所となっております。

また、認定こども園である「長万部マリア幼稚園」は、利用定員60名に対し33名、昨年4月から認可保育所に移行した「いずみ保育園」は、利用定員42名に対し18名の入園となっております。

次に、生活環境関係について申し上げます。

令和5年度の本町のゴミ収集総量は、1,817トンで、前年度と比較して約70トン減少いたしました。

渡島廃棄物処理広域連合に排出した可燃ゴミの量は、1,527トンで、前年度と比較して約20トンの減となっております。

ゴミ減量化の一環としては、小型家電は役場内に、廃食用油は各会館等に無料回収ボックスを設置し、衣類については各地域等へ年2回の巡回無料回収と役場内担当窓口での随時無料回収を行っております。

また、ペットボトルのボトルtoボトルのリサイクルを推進するため、3月19日に株式会社JEP LANと「地域循環共生圏推進に関する包括連携協定」を締結し、4月から同社の関連会社に使用済みペットボトルを引き渡しております。使用済みペットボトルは、ケミカルリサイクルという技術により、従来の方法よりも品質が向上したペットボトルに再生されることから、限りある資源の再利用による新たな石油資源の使用削減及び二酸化炭素排出削減に努めてまいります。

今後もゴミの減量には、町民一人ひとりの意識と行動が欠かせないため、ゴミの分別排出にもご協力いただくよう一層の啓発に努めてまいります。

次に、農業関係について申し上げます。

飼料作物である牧草につきましては、昨年より10日あまり雪解けが遅く一時心配をしたところですが、4月後半から5月中旬までの天候が安定し、気温も一気に上昇したことを受け、5月15日現在の作況では、適度な降雨も加わり生育は順調に進んでおります。また、サイレージ用とうもろこしについても同様の理由から播種作業、生育ともに順調に推移しております。

牧野事業では、足腰の強い優良な後継牛の育成や生産コストの低減と酪農経営の安定を目的に、公共牧場の運営事業を行っておりますが、入牧予定牛の事前検査やワクチン投与等を行いながら、牧場内での牛ウイルス性下痢等感染防止に努めております。

入牧状況は、町内酪農家の育成牛は4月28日に共立牧場へ200頭、5月18日に蕨岱牧場へ101頭を入牧いたしました。共立牧場は、入牧頭数に余裕があるため、本年度も豊浦町及び洞爺湖町の酪農家の育成牛の預託を受け入れ、5月17日に98頭の入牧が終了し、町営牧場2カ所の合計で399頭の利用をいただいております。

また、公共牧場及び畜産農家において、植生改善による良質な自給飼料生産に不可欠な草地更新や暗渠排水整備等による農地の機能向上のため、本年度から令和9年度までの期間、「道営草地整備事業」が実施されます。10戸の農業者が事業に参加し、総事業面積150ヘクタールの整備を予定しております。

農業生産額につきましては、生乳生産実績は、1月から4月までで2,768トン、乳代は2億9,714万円となり、前年同月と比較して生乳生産量は266トンの減となりましたが、乳価の値上げ改定もあり乳代は1,396万円の増となっております。

また、黒毛和牛の1月から4月までの販売頭数は69頭、販売金額は4,516万円となり、前年同月と比較して販売頭数で8頭の増、販売金額でも503万円の増となっており、概ね前年同月値を維持しております。

次に、有害鳥獣駆除対策について申し上げます。

有害鳥獣駆除対策は、長万部町鳥獣被害防止対策協議会が中心となり、関係機関と連携を図りながら、効果的な被害防止対策を実施しております。ヒグマや近年個体数が急増しているエゾシカ、特定外来生物であるアライグマなどが林業や農業へ被害をもたらしていることから、総合的に対処するため、本年度も引き続き「鳥獣被害防止対策事業」を同協議会に委託し、ハンターによる巡回の徹底や有害鳥獣駆除業務を実施し、被害防止対策の強化を図っております。

今後も関係機関と連携を図り、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律等に基づき、人畜被害を防止するため適切な処置を実施してまいります。

次に、漁業関係について申し上げます。

基幹産業であるホタテ貝養殖漁業は、令和5年度の生産量は約13,876トンで、前年度と比較して1,803トンの減となり、生産額は35億8,113万円で、前年度と比較して20億263万円の減となっております。この要因は、中国向けホタテ貝の輸出が禁止されたことと生育不良が重なり、水揚量が減少したものと考えられます。

渡島北部地区水産技術普及指導所が、3月に長万部町海域のホタテ稚貝の生育等を調査した結果、正常貝は約98パーセントとなり、例年と比較して良好な生育状況となっております。

次に、商工観光労政関係について申し上げます。

地域経済は、国際情勢の変化や長期化する物価高騰により、厳しい状況が続いており、今後の経営不安の解消と事業経営の安定化を図るため、中小企業特別融資資金の貸付けを関係機関と連携して実施しております。また、3月より実施いたしました、くらし応援商品券第3弾につきましては4月30日をもって終了しております。

観光振興では、引き続き長万部町、豊浦町、黒松内町の3町連携「はしっこ同盟」による広域連携事業を中心とした活動・取組を一層強化してまいります。

また、長万部観光協会では、JR長万部駅構内に設置している観光案内所「インフォまんべ」を拠点に、町の観光情報を発信するとともに、積極的な観光客の誘致に努めております。さらに、町を訪れる多くの観光客のみなさまへ長万部温泉や二股ラジウム温泉、飲食店の紹介をはじめ町内の観光情報を提供しております。今後、さらなる事業の展開・拡大・充実が期待されます。

なお、本町の経済活性化の一環であります合宿等誘致事業は、新幹線工事関係者が町内の温泉旅館に長期滞在しているため、大規模な受入は困難な状況ではありますが、温泉利用組合と連携し、受入の調整を行っていきたいと考えております。

次に、建設関係について申し上げます。

建築事業では、町営住宅（仮称）新南部団地建設工事第1工区を令和7年3月10日までの工期で発注しております。その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事については、計画的に実施しております。

土木事業では、町道佐渡ヶ島線ほか側溝改良工事を10月31日までの工期で発注しております。

道路維持関係では、舗装補修工事は11月15日までの工期で、道路排水清掃は11月29日までの工期で発注しております。その他、町道及び河川の維持補修等については、計画的に実施しております。

公園関係では、あやめ公園パークゴルフ場は4月12日に、長万部公園キャンプ場は4月19日にオープンしたところであります。

次に、公共下水道事業について申し上げます。

令和6年度で満了となる公共下水道事業計画の変更認可業務委託は、令和7年2月28日までの工期で実施中であります。

次に、病院事業について申し上げます。

町立病院では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため発熱外来を開設しておりますが、患者の受診状況を踏まえ、7月から発熱外来を終了し、内科外来にて対応する予定としております。

また、外科につきましては出張医による診療となっておりますが、引き続き常勤医師の確保に努めるとともに、町内唯一の病院としての役割を果たしてまいります。

次に、教育関係について申し上げます。

長万部高等学校制服購入費補助は、新入学生の保護者12名から申請があり、67万8,942円を4月25日に委任払いにより制服納入業者に支出しております。また、長万部高等学校通学費補助は、国縫、黒松内町、八雲町及び森町の通学者8名から申請があり、101万3,560円の支給を予定しております。

国公立大学生及び東京理科大学生に対する奨学金の給付や貸付けは、国公立大学生2名から申請があり、奨学金運営委員会を開催し奨学金の決定をしております。

次に、消防関係について申し上げます。

5月末現在の火災件数は、建物火災が2件発生しております。

救急件数は155件で、急病が71件、交通事故が7件、一般負傷が22件、その他転院搬送などが51件、ドクターヘリによる搬送は4件となっております。

火災予防につきましては、春の全道火災予防運動期間中、署員による防火広報、ホテルや大型店舗など不特定多数の方が出入りする施設の防火査察を実施いたしました。

消防団の状況につきましては、3月31日付けで団員6名が退団、現在の団員数は、基本団員が105名、女性団員が12名、機能別団員が15名で、合計132名となっております。

終わりに、本定例会に提案した議案は、一般会計補正予算など6件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。